

『偏差値20アップ
のノウハウ一挙大公開』
セミナー

算数編

《目次》

1. 『解く』ための一連の作業

2. 各段階での課題と克服法

【A】問題文中の情報整理の仕方

【B】根本原理

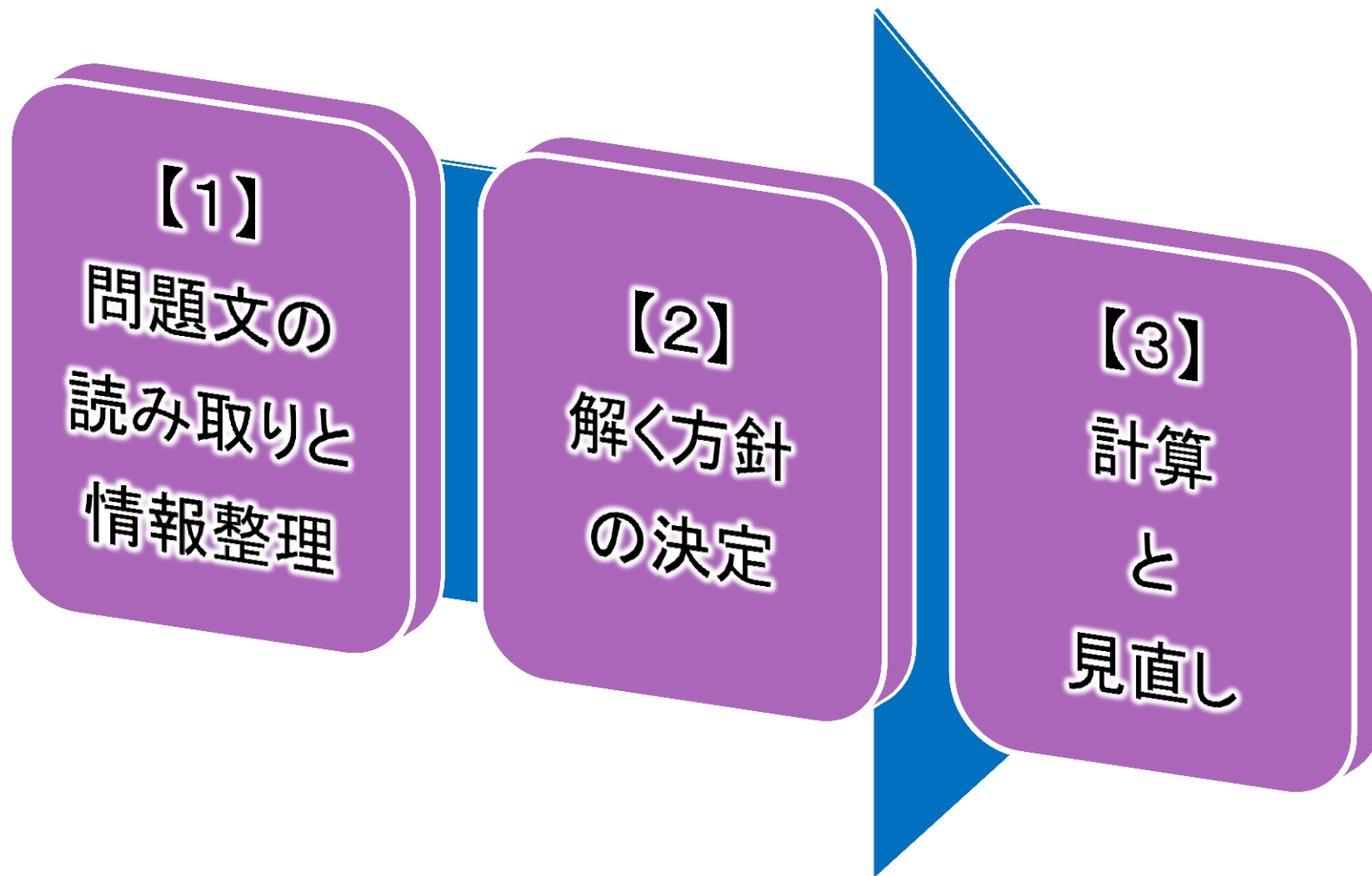
【C】分野を横断する考え方

【D】計算力

【E】テストでの見直し方


3. 春の志望校判定模試の活用

1. 『解く』ための一連の作業



2. 各段階での課題と克服法

【1】問題文の読み取りと情報整理

問題文の正しい読み取り  情報整理の仕方 →【A】

【2】解く方針の決定

根本原理 →【B】

分野を横断する考え方 →【C】

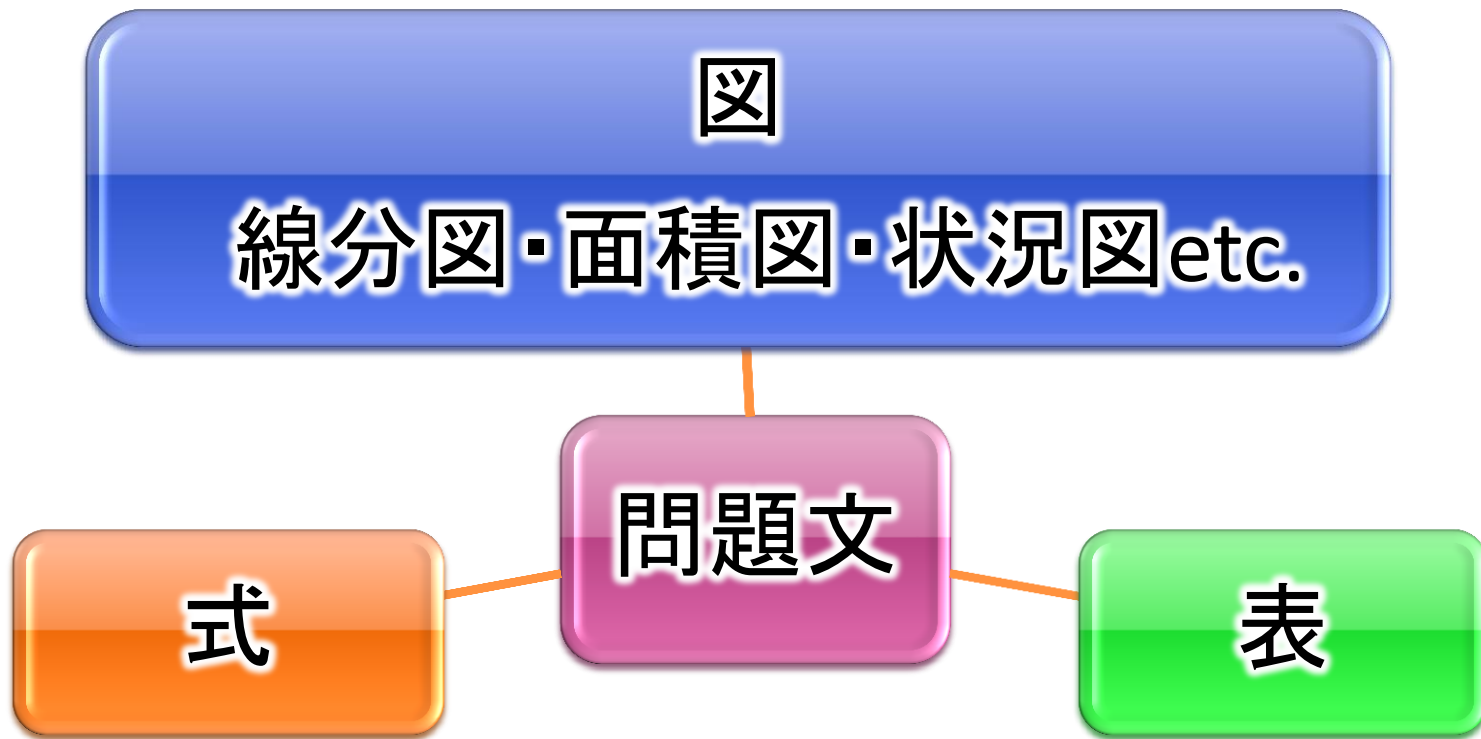
【3】計算と見直し

計算力 →【D】

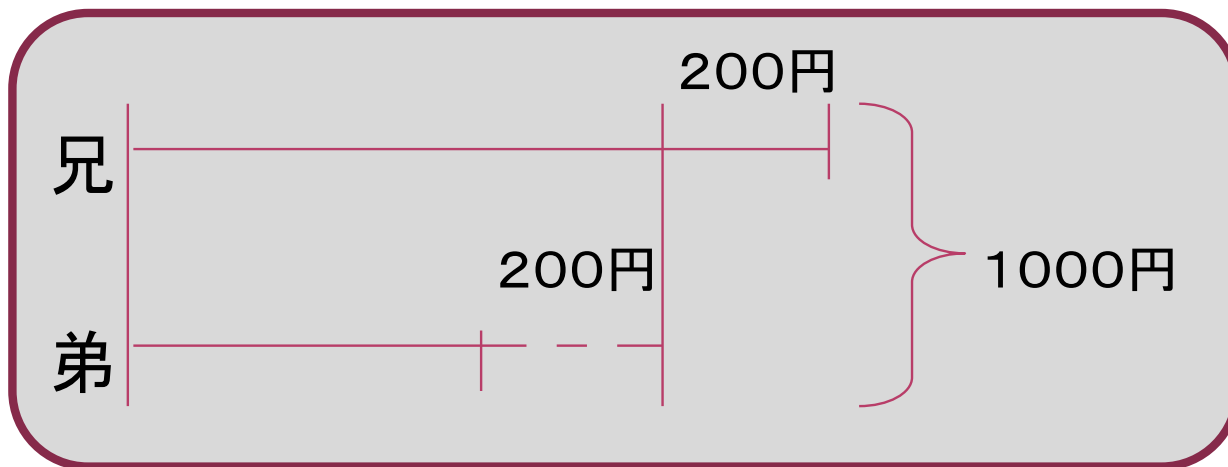
テストでの見直し →【E】

【A】問題文中の情報整理の仕方

※易しい問題で練習しておくことが肝要



【割合と比の文章題】「兄と弟の所持金を合わせると1000円。兄が弟に200円渡すと2人の所持金は等しくなる。兄の所持金はいくら？」



兄	弟	合計
[?]	[]	1000円
↓ -200円	↓ +200円	
[] =	[]	1000円

【B】分野ごとの根本原理を理解

※核になる例題で根本原理を解説

つるかめ算

a, b, c, d, \dots



根本原理

平均算

a, b, c, d, \dots



根本原理

旅人算

a, b, c, d, \dots



根本原理

【平均算の根本原理】

①でこぼこのものを合計を変えずに平らにならす

②平均は多い方に寄っていく

「100点満点のテストで80点が3人、10点が2人いた。この5人の平均点は何点？」

(ア)52点 (イ)42点 (ウ)32点

もし80点と10点が同じ人数なら、平均は45点

80点の方が人数が多いので平均は45点よりも80点の方に寄っていく(45点より大きい数)



【C】分野を横断する考え方

※複数分野に共通する解き方をおさえる

【差集め算】

あるクラスの生徒に紙を3枚ずつ配ると12枚余り、5枚ずつ配ると2枚余る。

紙は全部で何枚？

【通過算】

電車が700mの鉄橋を通過するのに18秒、1200mのトンネルを通過するのに30秒かかった。

電車の長さは何m？

共通する解き方～比と差の利用

【差集め算】

配った紙の合計数の比

3枚ずつ 5枚ずつ

③ : ⑤

差の② = 10枚

③ = 15枚

$15 + 12 = \underline{27}$ 枚

【通過算】

電車が進んだ距離の比

鉄橋 トンネル

18 : 30

= ③ : ⑤

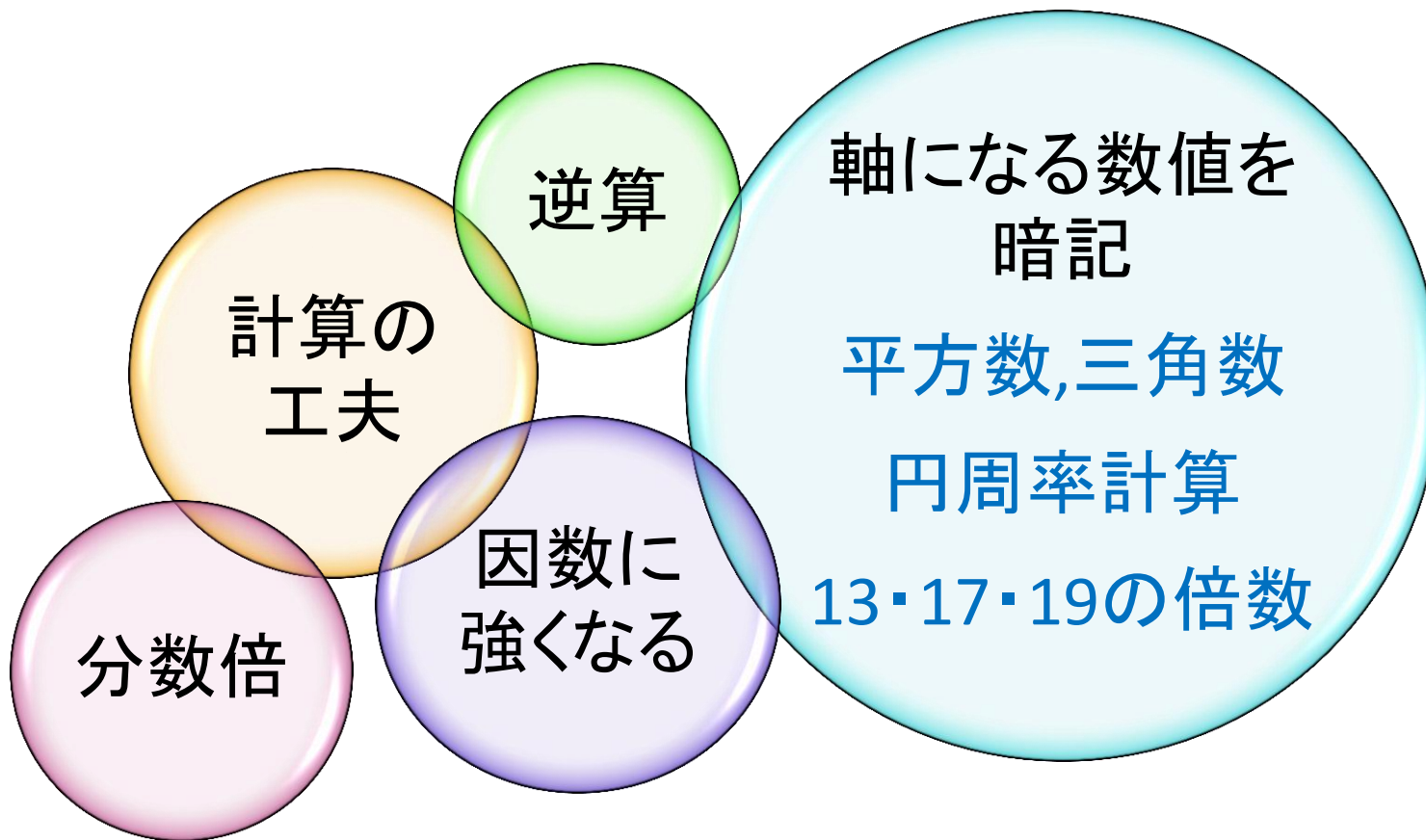
差の② = 500m

③ = 750m

$750 - 700 = \underline{50}$ m

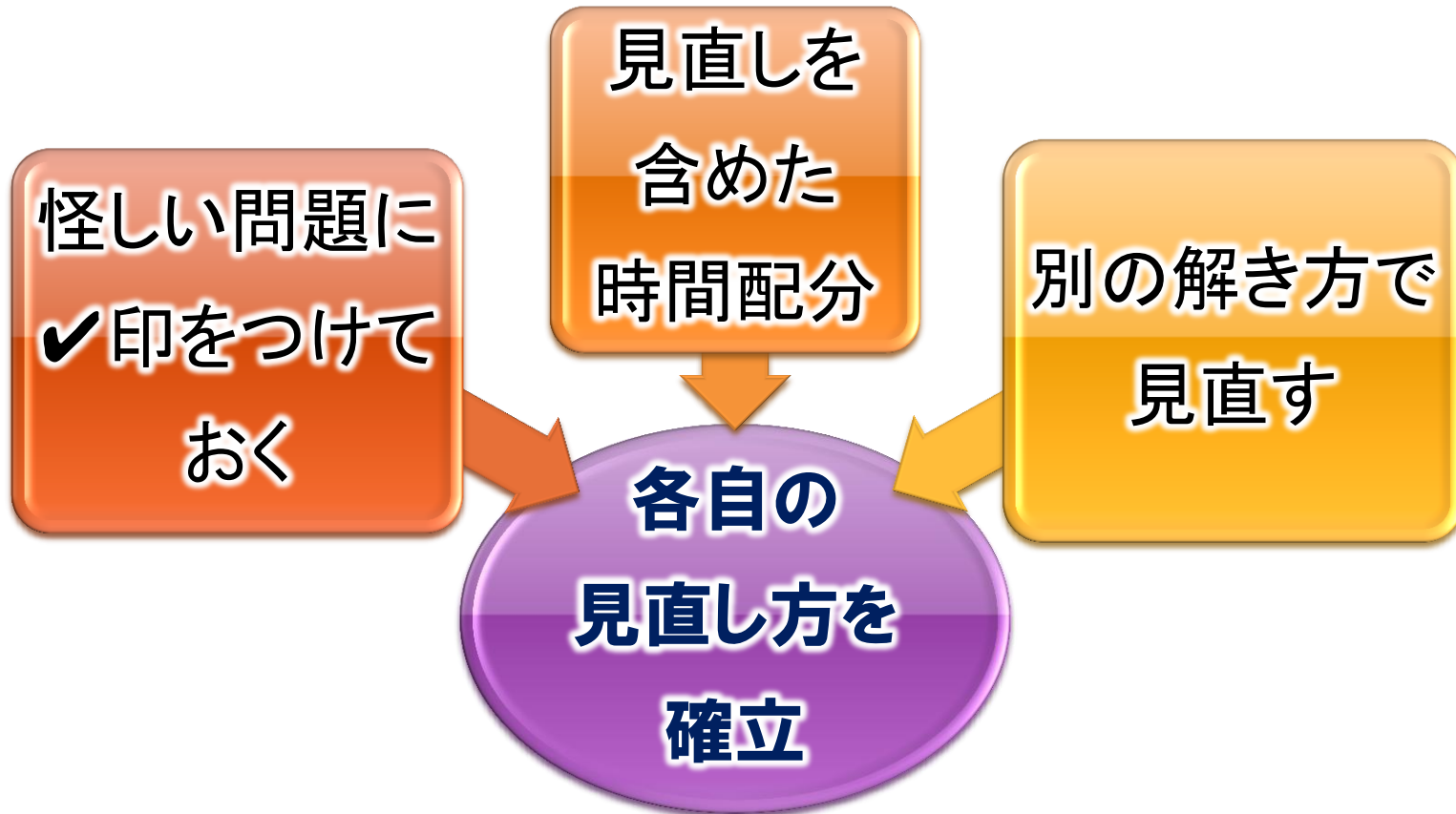
【D】計算力

※解く過程で求められる計算力を強化

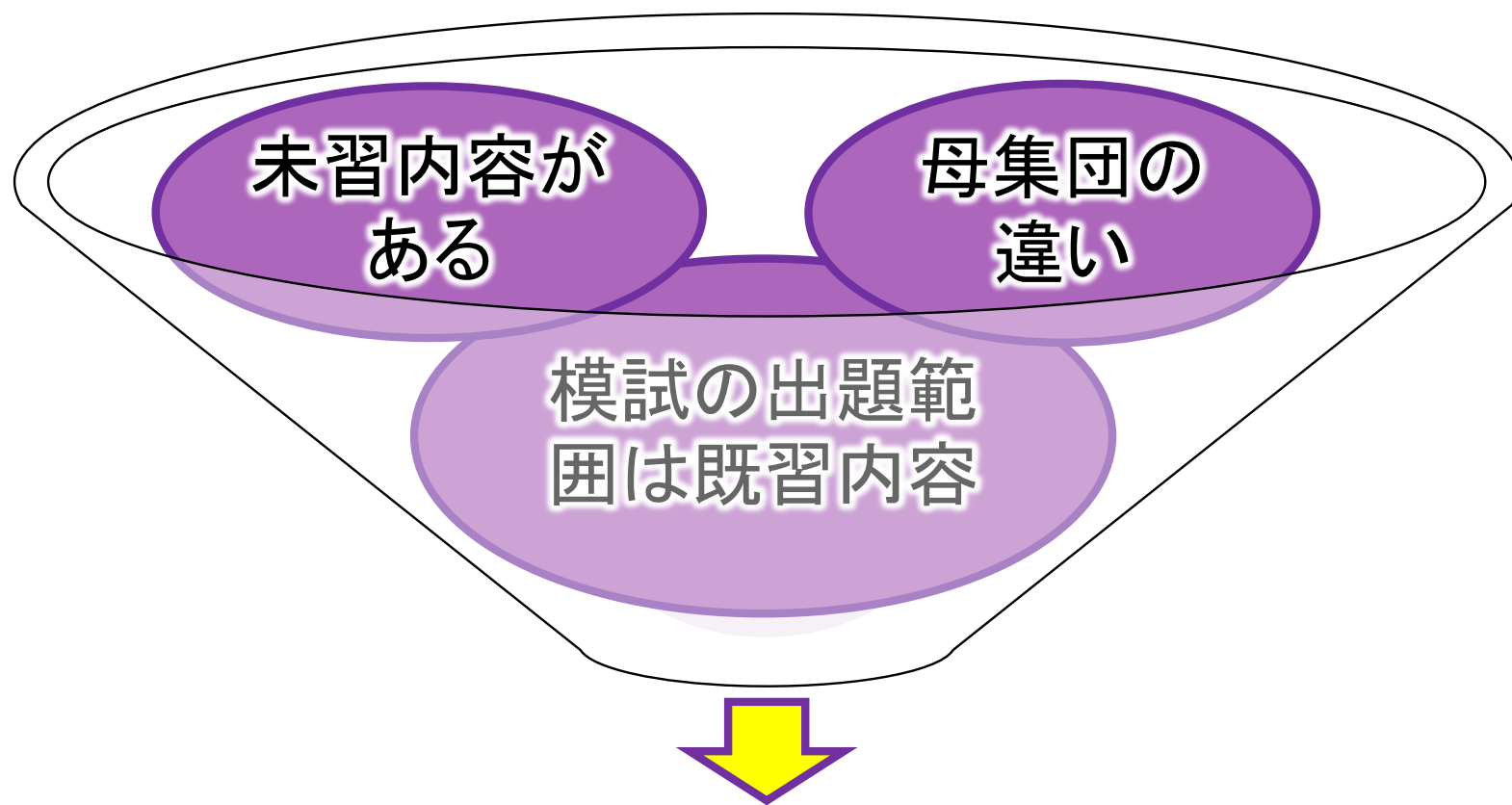


【E】テストでの見直し方

※見直し3原則



3. 春の志望校判定模試の活用



※どの段階で課題があるのかを見極める